

■関心を高める

中川運河に関心を寄せる契機となるもの、クチコミで広がる話題性や物語性、一般の人にも興味を持ってもらう為のわかりやすさも検討のうちに入れました。長年地域住民と築いてこられた繋がりや信頼関係も有効でした。地域住民が自分事として捉えることができるプランは特に注目されました。

■芸術性

コロナ禍という世界が直面している状況に向き合い、それを跳ね返すようなプランを期待しました。また、人の生活がある街の中での企画ですのでいろいろ自由にならないことが多いと思われませんが、アートを自由の既得権とせず、生活を表現への制限ととらえず、都市の中で発現するアートの新たなありようを常に模索する姿勢を期待しました。残念ながらそのような野心的なプランはみられませんでした。社会的な要請に真摯に向き合うプランが評価されました。

■「場」を活かす

中川運河という場所の活かし方に関しては、新たな魅力を引き出すような意欲的な試みは少なかったと思います。また、いつもの手法を場所変えて展開するだけのプランは総じて評価が低くなりました。アートには、誰もが当たり前と思って見過ごすものの中に特別な価値を見出し、その価値を強い個性によって鮮やかに描き出してみせる力があります。そのような力を活かすプランが評価されたと思います。

■実現性

実現性という指標には実にさまざまな意味が込められており、応募された方々もご苦労されたと思います。今回の審査中に特に気になったのが安全性に関するものです。市民や鑑賞者、学生などの参加を謳うプランが多かったですが、安全性をしっかりと考えられたプランは少なかったと思います。ものが建つ建たないだけでなく、構造的にも感染リスクに対しても安全か否か、作品をより広く拡散して社会にインパクトを与える準備が十分かも大切な実現性と捉えています。

■地域への根付き

まちづくりに資する文化的アプローチとして、これらの活動がどのように地域に根付くのかは、我々審査員も含めた課題として認識しておいります。応募のあったどのプランもその進め方や地域との対話のあり方の工夫によっては成果が期待できる可能性があったと思いますが、審査時点での各提案の内容には明確な差は見出せませんでした。採択されたプランの今後の努力目標となると思われます。